

## 生き立ち

子どものころ、私はきょうだいといっしょにアニメを見ることが大好きでした。姉は「ドラえもん」が好きで、兄は「ドラゴンボール」が好きでした。私はどちらも好きでした。みんなでいつしょに見る時間が、とても楽しかったからです。毎朝、私たちはワクワクしながらおきて、テレビの前にすわって、好きなアニメを待っていました。その時、家の中にはいつも笑いとよろこびがありました。

そのやさしい日々は、私の心にずっと残る思い出になりました。大きくなって、きょうだいとの関係は少し変わりましたが、その思い出は今も大切です。家族の大切さ、小さな幸せを大事にすること、そして人生の特別な時間に感謝することを教えてくれました。

大人になるにつれて、私の夢も大きくなりました。私は、アニメのキャラクターやけしきが生まれた国へ行きたいと思いました。あの場所を見て、人々に会い、文化を体験してみたいと思いました。

今、私は勉強したり働いたりできるようになりました。だから、夢をかなえるために、これから来るチャンスをぜつたに大切にしたいです。

子どものころはすぎてしましましたが、その時の教えは今の私をつくっています。日本のアニメのおかげで、私は楽しいことや想ぞう力だけでなく、「つながり」のたいせつさも学びました。

私にとって日本は、いつも家族を思い出させてくれる、あたたかい「家」のような場所です。